

## 業務分析により業務の効率化を目指したシステム化実証実験について

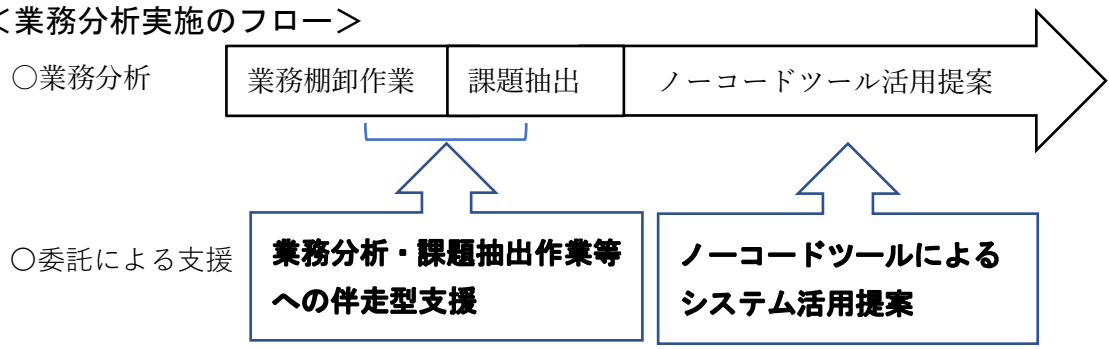
多様化・複雑化し増大し続ける行政需要に対応し、来たる人口減少社会へも的確に対応していくためには、現状の業務を効率化していくこととともに社会動向への適応が求められます。

そのため現在の行政事務業務を細分化・可視化する、いわゆる「業務分析」をおこなうことで業務改善につなげるとともに、デジタル技術の活用など新たな手法を導入し業務を効率化する提案につなげることが必要となります。

これらのことから本町では、業務分析により抽出される課題をデジタル技術（ノーコードツール）によるシステム化を図ることにより業務効率化・業務改善の効果について実証実験を行うものです。

本実証実験は、役場業務のうち2業務程度を選択して実施、手法や扱ったツールの検証を行い、今後全庁的に広げていくことを視野に入れて実施するものです。

### <業務分析実施のフロー>



### 業務分析とは

業務の改善に向けた課題抽出、洗い出し作業のことで、部署ごと、担当ごとに業務の内容や時間、コスト等を洗い出し、非効率なポイントを抽出する作業。

### ノーコードツールとは

あらかじめ用意された既存のシステムをプログラミングやシステム開発の専門知識を持たなくてもだれでもアプリケーションを制作・構築できるツールのこと。

ノーコードツールが活用できると、システム開発の時間や経費が節約できるとともに職員自らが気軽に手掛けることができることから、規模の小さなシステム活用などが期待される。